

## 病院カーテン一式 仕様書

1. 業 務 名 埼玉県立小児医療センター 病院カーテン一式賃貸借
2. 賃貸借場所 埼玉県立小児医療センター
3. 賃貸借期間 令和5年12月27日から令和10年12月26日まで（60月）
4. 付 帯 業 務 本仕様書に記載されたカーテンメンテナンスを含むものとする。
5. 仕 様

- (1) 防災カーテン（以下「カーテン」という。）の設置場所及び設置数量等について（詳細は、別紙明細表参照のこと。）

種 類	常 設 用	定期メンテナンス用 スぺア	臨時交換用スぺア	合 計
窓カーテン(遮光)	277枚	135枚	48枚	460枚
レースカーテン	261枚	136枚	48枚	445枚
仕切カーテン	391枚	305枚	33枚	720枚
タッセル	277	140		417
合 計	929枚	576枚	129枚	1,625枚

※ 定期メンテナンス用スぺアは業者にて、臨時交換用スぺアは病院にて保管する。

- (2) カーテンの生地について

ア 別紙1に示す例示生地、又は例示生地と金額及び品質において同等以上の物を使用すること。

イ 消防法第8条の3に基づく消防庁長官の認定を受けた難燃性の生地を使用すること。また、防災ラベルは（イ）ラベルのものを使用すること。

ウ 耐光堅牢度は4級以上(JISL-0842)・洗濯堅牢度(変退色汚染)5級以上(JISL-0844)を使用すること。色彩及び厚み等については、賃貸人の見本提示に基づいて、賃借人の指定したものを使用すること。

エ カーテンはウォッシュابل機能を有し、業務用洗濯機で30回以上のランドリーに耐えること。

オ 通常のクリーニングを行った時の収縮率が巾・丈共に1.0%以下であること。

カ イの難燃性の生地については、非HBCD難燃剤（※1）を使用した生地を用い、環境負荷軽減に配慮すること。

※1 非HBCD難燃剤・・・「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に指定のある第一種監視化学物質であるヘキサブロモシクロドデカン（＝HBCD）を含有しない難燃剤。

キ 病室及び外来診察室の仕切りカーテンについては、制菌機能（SEKマーク若しくはそれに準ずる認証を得ていること）を有すること。

ク 窓カーテンの遮光性能は別紙明細票にて完全遮光とされているものについては完全遮光、それ以外については2級又は3級とすること。

ケ 応札より前に上記内容の生地見本（平米単価がわかるもの）を提出すること。

コ 上記カーテンは、他で使用されたものではなく、全て新品商品とする。

- (3) カーテンの縫製について

ア 窓用カーテン

(ア) ドレープカーテン、遮光カーテンは、2ツ山／片ヒダ1.5倍ヒダとする。

(イ) レースカーテンは、ドレープカーテンに引っ掛からないように1.5倍ヒダとし、上下折返しは40cm程度とすること。

(ウ) 裾は10cm3つ巻きとすること。

イ 仕切り用カーテン

(ア) 1.0倍ヒダとする。必要に応じてスプリンクラーの散布障害にならないように、メッシュの長さは70cm以上とすること。

(イ) メッシュは、契約時に部署によって長さや位置を変更する場合がある。

ウ フック

フックは永久に錆びないステンレスを使用し、カーテンが脱落せずレールランナーから抜け落ちないようにし、先端は丸く仕上げること。

エ 縫製カーテンには、消防庁の認定番号その他難燃性であることを標榜したラベルをカーテン1枚ごと縫いつけること。また、QRコード、納入業者名、施設名、カーテンサイズが入ったラベルを縫い付けること。

オ 全てのカーテンの裾は原則10cm3つ巻とし、50mm以上の芯地を使用すること。

(4) 定期メンテナンスについて

ア カーテンメンテナンスは、6か月に1回の定期メンテナンス（交換、洗濯）を行うこと。その実施期間は1か月程度で完了させること。

イ カーテンクリーニングの方法

- ・予洗（1回～2回常温にて最低5分以上）
- ・本洗（1回～2回30℃～60℃洗剤にて約10分）
- ・濯ぎ（2回～3回、1回につき最低3分以上）
- ・脱水（遠心分離機にて絞り脱水）
- ・スチーム仕上げ又はプレス仕上げ（カーテン用ヒートローラーで1枚ずつ仕上げ）の工程を行うこと。

※クリーニングの最終工程では消毒の工程を必ず行い、院内感染の抑制を心掛けること。

ウ 取り外したカーテンを室内、または通路等に直接触れることのないように作業すること。クリーニング済みカーテンの搬入の際は清潔感を重視し、また、入院患者及び来院者の見栄えを考慮して専用のカーテンバックを使用すること。また、ランドリーバックは、常時賃貸人の名入りのものであること。

エ メンテナンス業務を実施するときは、事前に作業工程・日程表を提出し病院側の了解を得ること。

オ カーテンの交換業務にあたっては、病院側担当者の指示に従い、特に入院患者の療養を妨げないように心掛けること。特に、病室への出入りには細心の注意を払い、患者の安全確保を心掛け、入室時間を短時間にするように努めること。また、交換業務に携わるスタッフは、賃貸人を証するユニフォーム及び名札を着用すること。

カ メンテナンススタッフは、納入業者が定めるマニュアル教育を必ず受けたスタッフにて作業すること。

キ カーテンのメンテナンス（洗濯）に当たっては、通常時と同等品のスペアカーテンをあらかじめ準備し、メンテナンス期間においても、通常時と同じ状況にすること。また、遮光カーテンに関しても、同等品での交換とすること。

ク 血液及び汚物等で汚れた時や特に汚れが酷い場合は、アの定期クリーニングに関わらず、無償で洗濯を行うこと。

ケ 通常の使用に伴うカーテンのほつれ、綻び等の補修を随時無償で行うこと。

コ 突発的な汚れ等でカーテンを交換することを想定し、病院内にカーテンをストックすること。（（1）で示す臨時交換用スペアカーテンのこと）また、この場合のカーテンのメンテナンスについては、年末年始やゴールデンウィーク等の連休を除き2週間サイクルで行うこと。

サ ISO9001を取得していることとし、それを証明するものの写しを契約時に提出すること。

シ 災害等で近郊のサービス体制(クリーニング工場を含む)に支障が生じた場合には、グループ会社で関東地方に同等のサービスが供給できる拠点を3つ以上備えていること。

(5) その他

ア 納入業者はカーテンの作成前に実測を行い、管理台帳を作成し、病院側へ提示すること。

イ カーテンの取付けは、すべて納入業者が行うこと。

ウ カーテンに付随するタッセルの取付けはカーテン取付けと同時に行うこと。窓用カーテンは船形タッセルとすること。

エ カーテンの社名表示は、出来るだけ小さく目立たないところに取り付けること。

オ 房掛けについては、現状のものを使用すること。

カ カーテンの搬入、取付け及び交換作業に際して、建物及び他の器物に汚染、破損等を与えることのないよう十分注意し、作業終了後は納入業者の責任で包装材、残材等を直ちに処分すること。また、作業中の物損及び対人傷害を想定し、それを保証する保険に加入し、それを証明するものの写しを契約時に病院側に提出すること。

キ 納入業者はカーテンメンテナンスマニュアルを作成し、病院側に提出すること。

ク メンテナンス業務は納入業者が行い、原則として再委託はしないこと。